

KFA 第 30 回熊本県クラブユース U-14 サッカー大会 コロナウイルス感染予防対策

- ・ベンチ内では選手、スタッフのマスク着用を義務とする。
- ・試合前後のシェイクハンドセレモニーは無し、会場正面と反対側に挨拶のみ。
- ・試合前、円陣なし。
- ・観客は認めるが、会場責任者が指定した場所で距離をとってマスク着用。声援は不可。
- ・選手や応援者は当日検温を行い、クラブは選手の体温チェックを記録として残す。
なお、当日 37.5℃以上の当日の帯同不可。
- ・各チームスタッフは保護者応援者名簿を残すこと。当日の体温も記入してもらうこと。
- ・大会 2 週間前からの健康チェックシートを記入し各チームで保管する。
12/13⇒11/29 から当日まで
12/19⇒12/14 から当日まで
12/20⇒当日の記録シート
1/9⇒12/26 から当日まで
1/10⇒当日の記録シート
1/11⇒当日の記録シート
※記録シートは運営で準備します。
- ・ベンチも密にならないように各チームが対策を講じる。(テントを多めに持参等)
- ・本部テントは消毒環境を整備する。(予算があれば肌に触れないタイプの検温器購入)
- ・監督会議後に大会エントリースタッフまたは大会エントリーメンバーにコロナ感染陽性者が出た場合、大会運営に速やかに報告すること。

様々なケースが想定されるので、基準の明確化は困難ですが、対応の基準フローとして、

参加チーム ⇒ 大会担当 ⇒ 執行委員 ⇒ 大会担当 ⇒ 参加チーム

の流れで個別に検討していくこととする。